

JIA talk

vol.181

調和の幻想

人間は自然との調和のうちに生き延びられるか。

杉本博司

現代美術作家

江之浦調検所「光井戸」 ©Odawara Art Foundation / Courtesy of New Material Research Laboratory

2021年10月27日[水] 17:50-20:00 [開場17:00] 会場開催+オンライン配信 [Zoom] ※要事前申込 [裏面を参照]

会場:東京デザインセンター B2階 ガレリアホール 東京都品川区東五反田5丁目25-19

主催:公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部 JIAトーク実行委員会 協賛:日新工業株式会社/日本アスファルト防水工業協同組合 会場協力:株式会社東京デザインセンター



2019年の春、私はパリ、コレージュ・ド・フランスにおいての講演会に招請されました。その年の秋にはパリ、オペラ座開設350周年記念の幕開け公演「鷹の井戸」の演出も担当していました。私はここで、私のアーティストとしての一生を要約して、私は何を求め、何をしたか、これからの余生に何をすべきかを、自身に問うための講演草稿をまとめました。講演と公演は成功裏に終わりましたが、まさかその年の暮れからコロナが世界を覆うとは思ってもみないことでした。今回のJIA talkではこの私のパリ講演を再現してみたいと思います。オリンピックも終わり、次の国家目標は万博のようです。70年、大阪万博のテーマは「人類の進歩と調和」でした。果たしてその目指した調和とは幻想だったのでしょうか。——— 杉本博司



杉本博司 | すぎもと・ひろし

1948年東京都生まれ。現代美術作家。1970年渡米、1974年よりニューヨーク在住。杉本博司の活動分野は、写真、彫刻、インスタレーション、演劇、建築、造園、執筆、料理と多岐にわたる。杉本のアートは歴史と存在の一過性をテーマとしている。そこには経験主義と形而上学の知見をもって、西洋と東洋との狭間に観念の橋渡しをしようとする意図がある。時間の性質、人間の知覚、意識の起源といったテーマがそこでは探求される。2008年、神田倫之と建築設計事務所「新素材研究所」設立。2009年、公益財団法人小田原文化財団設立。1989年毎日芸術賞、2001年ハッセルブラッド国際写真賞、2009年高松宮殿下記念世界文化賞（絵画部門）受賞。2010年紫綬褒章受章。2013年フランス芸術文化勲章オフィシエ叙勲。2017年文化功労者。

JIAトーク講演者一覧

- 1976年度 西川幸治 (京都大学助教授) / 祖父江孝男 (国立民俗学博物館教授) / 色川大吉 (東京経済大学教授) / 村野藤吾 (建築家) / 山口文象 (建築家) / 吉村順三 (建築家) / 都留重人 (経済学者) / 山崎正和 (大阪大学文学部教授)
- 1978年度 清家 清 (建築家) / 池辺 陽 (東京大学教授) / 長谷川 堯 (建築評論家) / 鈴木博之 (東京大学助教授) / 福田繁雄 (グラフィックデザイナー) / 秋岡芳夫 (工業デザイナー) / 吉田光邦 (京都大学教授)
- 1979年度 柳 宗理 (工業デザイナー) / 山根成之 (映画監督) / 高橋 誠一 (建築家) / 帖佐美行 (彫金家) / 黛 敏郎 (音楽家) / 亀倉雄策 (グラフィックデザイナー) / 平山郁夫 (画家)
- 1980年度 樋口清之 (國學院大学名誉教授) / 小泉文夫 (東京藝術大学教授) / 森本哲郎 (評論家)
- 1981年度 遠藤 武 (文化女子大学教授) / 川喜田二郎 (筑波大学教授) / 石毛直道 (国立民俗学博物館助教授) / 島田一男 (聖心女子大学教授) / 山口昌男 (東京外国語大学助教授) / 山本七平 (評論家)
- 1982年度 東野芳明 (多摩美術大学教授) / 安井 清 (安井圭工務店棟梁) / 団 伊玖磨 (作曲家)
- 1983年度 岩田糸子 (ガラス工芸家) / 栗田喜三 (穴太衆流13代目) / 下河辺 淳 (総合研究開発機構理事) / 今里 隆 (建築家) / 武満 徹 (作曲家)
- 1984年度 濱谷 浩 (写真家) / 黒田光彦 (日産自動車設計部) / 朝倉 摂 (舞台装置家) / 添田 浩 (日本大学芸術部講師) / 清水達雄 (作曲家) / 伊藤謙哉 (立教大学教授) / 和泉一哉 (日本航空技術部)
- 1985年度 周 達生 (国立民俗学博物館助教授) / 沈 雨晟 (人形美術研究家) / 宮脇 禮 (建築家) / 穆 小林 (中華人民共和国駐日大使館) / 崔 東玉 (人民芸術家) / スジャトモコ (国連大学長)
- 1986年度 ポール・チェン / 桐生 稔 (中部大学国際関係学部教授) / 白川義員 (写真家)
- 1989年度 芳野伊孝 (映画美術家) / 重森完途 (造園家) / 関根伸夫 (彫刻家) / 団 伊玖磨 (作曲家)
- 1990年度 内田正泰 (切り紙絵作家) / 細野稔人 (彫刻家) / 小塩 節 (ドイツ文学者) / 佐藤敏直 (作曲家)
- 1991年度 五味太郎 (絵本作家) / 中村鷹治郎 (歌舞伎役者) / 安達以牟牟 (浮世絵職人) / 中村八大 (作曲家)
- 1992年度 太田愛人 (エッセイスト) / 森 通 (画家) / 海老澤 敏 (音楽学者) / 大和屋 巖 (水彩画家)
- 1993年度 吉田 文吾 (文芸座・人形遣い) / 大岡 玲 (作家) / 川本喜八郎 (アニメーション作家) / 二田原英二 (彫刻家)
- 1994年度 大橋 力 (文部省放送教育開発センター教授) / 谷川俊太郎 (詩人) / 細野稔人 (彫刻家)
- 1995年度 篠田桃紅 (書家) / 伊藤喜三郎 (画家・建築家) / 東儀俊美 (前宮内庁楽部首席楽長) / ガストン・ブチ (神父・画家)
- 1996年度 田中一光 (グラフィックデザイナー) / 沢木耕太郎 (ルポライター・作家) / 一柳 慧 (作曲家・ピアニスト) / 篠田 正浩 (映画監督)
- 1997年度 柳 宗理 (インダストリアルデザイナー) / 大岡 信 (詩人・評論家) / 小島美子 (音楽学者) / 二川幸夫 (建築写真家)
- 1998年度 J・V スウェーデン (ランドスケープアーキテクト) / 養老孟司 (解剖学者) / 日高敏隆 (動物行動学者) / 荒川修作 (美術作家)
- 1999年度 池田直樹 (オペラ歌手・二期会会員) / 千田堅吉+千田郁子 (唐長十一代目) / 伊藤ていじ (建築家) / 永 六輔 (放送タレント)
- 2000年度 米久庵憲司 (工業デザイナー) / 永井路子 (小説家) / 阿川佐和子 (著述家) / 湯浅譲二 (作曲家)
- 2001年度 三宅榛名 (作曲家・ピアニスト) / 池内 紀 (ドイツ文学者・評論家) / 小川通仁 (日本テレビプロデューサー・演出家) / 吾妻兼治郎 (彫刻家) / 大友直人 (指揮者) / 假屋崎省吾 (華道家) / 甲にしき (東京宝塚劇場支配人) / 長尾重武 (西洋美術史家・武蔵野美術大学教授)
- 2002年度 篠田正浩 (映画監督) / さいとうたかを (劇作家) / 伊藤八十八 (ソニーミュージック) / 岸田夏子 (画家)
- 2003年度 永田 穂 (音響設計者) / 桐谷エリザベス (エッセイスト) / 植木 浩 (元文化庁長官) / 日比野克彦 (造形作家)
- 2004年度 押場靖志 (イタリア映画研究家) / 安部建一 (日本大学・航空研究会顧問) / 高山 博 (東京大学大学院教授) / コシノ・ジュンコ (デザイナー)
- 2005年度 辻 義一 (辻留主人) / 井上章一 (歴史学者) / 橋都浩平 (小児科医) / 島田恭子 (陶芸家)
- 2006年度 上村淳之 (日本画家) / 舟越 桂 (彫刻家) / 田原桂一 (写真家) / 串田和美 (俳優・演出家)
- 2007年度 林 望 (作家・書誌学者) / 秋山 孝 (イラストレーター) / 石澤良昭 (上智大学学長) / 大林宣彦 (映画作家)
- 2008年度 佐藤 卓 (グラフィックデザイナー) / 三枝成彰 (作曲家) / 山下洋輔 (ジャズピアニスト) / 田中優子 (法政大学教授)
- 2009年度 金澤英明+溝入敬三 (バス演奏者) / 新 良太 (写真家) / アレックスカー (東洋美術・文化のコンサルタント) / 帯津良一 (医師)
- 2010年度 NoLi (白瀧徳盛) (ヘアメイクアップアーティスト) / 服部一志 (産婦人科医師) / ねじめ正一 (詩人・小説家) / 山田洋次 (映画監督)
- 2011年度 原 研哉 (デザイナー) / 加藤久佳 (翻訳家) / 白崎容子 (慶應義塾大学教授) / 土崎 謙 (テノール歌手)
- 2012年度 伊藤哲郎 (元オリーブ社) / 深澤直人 (プロダクトデザイナー) / 星野朝子 (日産自動車) / 高野行進 (ギター奏者)
- 2013年度 朝吹 元+根本英亮 (チェロ奏者・ピアノ奏者) / 松本零士 (漫画家) / 名和晃平 (彫刻家) / 弘中惇一郎 (弁護士)
- 2014年度 石川直樹 (写真家) / ブルース・ヒューバナー+ジョナサン・カツ (尺八奏者・ピアノ奏者) / ひびの こづえ (コスチューム・アーティスト)
- 2015年度 内原智史+東海林弘靖+武石正宣+東宮洋美+富田泰行 (照明デザイナー)
- 2016年度 小西康陽 (音楽家) / 諏訪綾子 (アーティスト) / BAKIBAKI (アーティスト) / 廣村 正彰 (グラフィックデザイナー)
- 2017年度 加藤精一 (住職) / リシャール・コラス (シャネル株式会社 代表取締役社長) / 和田 智 (カー&プロダクトデザイナー)
- 川瀬佑介 (国立西洋美術館主任研究員)
- 2018年度 野田秀樹 (劇作家・演出家・役者) / 中塚 武 (サウンドクリエイター・シンガーソングライター) / 仲條正義+服部一成 (グラフィックデザイナー)
- 齋藤精一 (クリエイティブ ディレクター)
- 2019年度 小松英一郎 (宇宙物理学者) / 中塚翠涛 (書家) / 佐藤岳利 (フェイスフェイス代表)
- 2021年度 北村明子 (ダンサー・振付家) / 和多利浩一 (ワタリウム美術館CEO)

[重要注意事項] 会場への参加者は次の項目を遵守して頂きます

- ・都内在住者に限る ・コロナワクチン2回接種済み (接種証明書を事前にメールにて提出) もしくは「2日前以内のPCR検査で陰性であること (証明書を入場時に提示)」
- ・マスクの着用 ※不織布マスク又はそれ以上の性能を有するものを着用 (ウレタンマスク、布マスク、フェイスシールド等は不可)
- ・事前検温及び手指消毒 ・会場内での私語禁止 ・スマートフォンを活用した接触確認アプリ (COCOA) を積極的に活用すること

参加費：無料

会場定員：100名 (事前申込をお願い致します ※定員に達し次第申込締切)

オンライン配信定員：50名 (事前申込をお願い致します ※定員に達し次第申込締切)

※当日の参加に必要な Zoom アドレスは、開催日前日までにメールにてお知らせ致します。

申込方法：お申込みフォーム (下記 URL もしくは QR コード) よりお申込み下さい。

URL <https://forms.gle/nBMnTBPtUnoKKgQSA>

問合せ先：JIA 関東甲信越支部 TEL. 03-3408-8291 メール talk@jia.or.jp

